疑

六年

画数 14

筆順 ㇇ ㇇ 矣 矣 矣 疑

オン ギ

クン うたがーう

成り立ち

人のすがたを表した〝ヒ〟と、〝知る〟意味の〝矢〟と、赤子の形と足の形とを合わせて「赤子の足」という意味を表した〝疋〟とを組み合わせて作った字です。

「よちよちと歩く赤子の足を、知っている人が見て、〝気づかう〟」ことを表した字です。

それは「それでよいのだろうかと〝うたがう〟」ことですから、〝うたがう〟という意味に使われるようになりました。

使い方

▽何かを見たり聞いたりして、疑問が出てくると、ぼくは、事典や参考書をめくって、疑問をただすことにしています。わからないことを、そのまま放っておくことが嫌いなのです。疑点が解明されると、すっきりとした良い気分になります。

熟語例

▽疑問（疑わしいこと。また、疑って質問すること。）

▽疑点（疑わしい点。疑わしいところ）

▽疑惑（疑い惑うこと。疑いあやしむこと。「疑惑の中心人物」などというふうに、つかいます。）

▽懐疑（疑いをいだくこと。「その話の真実性については、学者は懐疑的だった」などというふうに、つかいます。）

▽容疑（何かの罪を犯したのではないかという疑い。「百万円横領の容疑者」などというふうに、つかいます。）

▽質疑（疑わしいところを問いただすこと。「質疑に答える」などというふうに、つかいます。）

▽半信半疑（半ば信じ、半ば疑うこと。「半信半疑でその話を聞いていた」などと、つかいます。）

吸

六年

画数 6

筆順 ㇇ 吸 吸

オン キュウ

クン すーう

成り立ち

人の形を表した〝ク〟と、手の形を表した〝又〟とを組み合わせて作った字の〝及〟に〝口〟を加えて作った字です。

及は、〝級（3年278）〟の〝及〟、〝急（3年277）〟の〝急〟と同じで、「人を追いかけて、後ろから手をかけた形」を表した字で、〝つかまえる〟という意味を表した字です。

吸は「口でつかまえる」という意味の字で、水や空気を〝すう〟ことを表したものです。

使い方

▽森林浴という健康法があります。緑の多い森や林を散歩しながら、新鮮な空気を思い切り呼吸するのです。すると、気分がさっぱりします。とくに、都会の排気ガスを吸っている人たちの間で人気があります。

▽若い時には、色々な知識を吸収して、たくわえておくことが大事です。また、若い時には、吸収力が大きいのです。若い時は二度と無いのですから、後悔のないよう、過ごしたいものです。

熟語例

▽呼吸（息を吐くことと吸うこと。酸素を吸い込んで、二酸化炭素を吐く作用です。また、「呼吸がぴったり合う」というように、人と何かする時の調子をさすこともあります。）

▽吸入（吸い込むこと。「高い山の上では空気が薄いので酸素を吸入する」などというふうに、つかいます。）

▽吸収（吸い込んで体に収めること。例では、「知識を取り入れて身につけること」を言います。）

▽吸引（吸い込んで引きつけること。また、人を引きつけるという意味にも、つかいます。）